

# 市民活動センター

## たちかわ通信

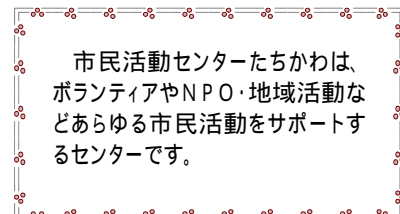


編集・発行

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ  
〒190-0013 立川市富士見町2-36-47 Tel.042-529-8323 Fax.042-529-8714  
Email aiaivc@whi.m-net.ne.jp URL http://act.annex-tachikawa.com/

開所日・時間

(月)～(金) 8:30～19:00  
(土) 8:30～17:15日・祝日はお休みです。



市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2005.6 Vol.27

### 目次

#### <特集！>

P 2～3 ～平成17年度市民活動センターたちかわ助成事業～

#### <イベント・講習・講座など>

P 4 第1回 通訳者の立場から  
「エッ!私の手話がつうじていなかったの?」

おすすめ!

P 5 第1回 教育フォーラム in わかば  
子どもの笑顔があふれる若葉町

注目!

#### <各種助成事業のご案内です>

P 5 地域福祉を支援する 第17回「わかば基金」

ドコモ市民活動団体への助成事業」募集案内

P 6 市民活動に関わる男性たち  
～会社員の小林さんと定年退職後NPOで働く館野さん～

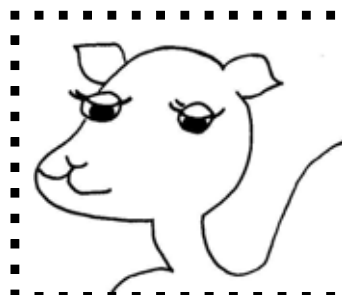
おすすめ!

#### <市民活動センターたちかわより>

P 7 夏!体験ボランティアに参加してみませんか?

おすすめ!

～平成17年度市民活動センターたちかわ助成事業～



## 助成金給付団体が決定！！

4月26日（火）、平成17年度市民活動センターたちかわ助成金審査会が開催されました。前期の助成金を申請された団体は27団体。そのうち下記の通り22団体（審議中1団体）に助成金の給付が決定しましたのでご報告いたします。なお、詳細な内容につきましてはホームページに掲載する予定です。興味を持たれた方、今後、助成金の申請をご検討の方はぜひご覧下さい。

団体名	申請内容	金額
富士見町に蛍を呼び戻す会	水質改善を行う為の濾過フィルターや遮光ネット等、機材の購入費	¥100,000
立川手話友の会	手話講演会講師謝礼、手話通訳謝礼	¥100,000
愛犬パトロールグループの会（立）	活動用ユニフォーム等の購入費、広報費	¥50,000
立川砂川公園環境美化グループの会（立）	活動用ユニフォーム等の購入費、広報費	¥50,000
ママの杜	リトミック等講師謝礼、保育費等	¥50,000
子育ていれかわりたちかわり	ホームページ作成費、イベント開催費等	審議中
リサイクルショップいろりん	壁面ディスプレイ、のぼり旗の購入費	¥72,600
若葉くらぶ（ハンディーのある子もない子ども地域で共に遊ぼう会）（立）	パンフレット作成等にかかる広報費	¥50,000
立川プレーパークを考える会	「看板作り」ワークショップ講師謝礼	¥100,000
チャイルドラインたちかわ	電話の受け手育成研修会講師謝礼	¥100,000
悠遊学級	音楽講師謝礼	¥50,000
ドリームエンジェル（立）	おむつ外し講座講師謝礼、保育費等	¥50,000
学校支援ボランティア「学ボラの会」（立）	勉強会講師謝礼等	¥50,000
ホリデースクールわかば ボランティアコーディネーター若葉小部会	教育フォーラム講師謝礼	¥100,000
ひまわりの会	書道講師謝礼	¥50,000
たまミュージカルコーラス（立）	音楽講師謝礼	¥50,000
地域デイサービス テイクオフ	太極拳講師謝礼	¥39,000
特定非営利活動法人 市民活動サポートセンター・アンティ多摩	「市民活動げんき講座」講師謝礼	¥100,000
立川市聴覚障害者協会	講演会講師謝礼、手話通訳謝礼	¥100,000
特定非営利活動法人 こどもと文化協議会・プラッツ	プレイリーダー講師謝礼	¥80,000
立川市肢体不自由児・者父母の会 たつのこ	音楽療法講師謝礼	¥45,000
立川市テニス向上委員会（立）	ラケット等購入費、市営コート使用料	¥50,000
すみれ寮ぽれぽれコンサート	コンサート出演者謝礼、会場費	¥100,000
		¥1,536,600

（立）は立ち上げ資金

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

# 平成17年市民活動センターたちかわ助成決定までの流れ

## 市民活動センターたちかわの助成金とは

目的は『多くの市民が参加し、活気あふれるまちづくりの推進に貢献すること』です。助成によって、市民活動団体と当センターがより連携を密にし、共にまちづくりを進めていけることを大切にしています。

## 助成金審査会とは...

助成金審査会とは...?と思われた方もいらっしゃると思います。助成金審査会とは当センターの運営委員で構成されている短期事業検討委員会の6名が審査員を務めています。主な活動は、助成金のガイドライン見直しや助成金申請の審査及び助成金報告書の確認をしたり、助成事業以外でも通信やホームページといった当センターの広報について検討したりする場となっています。



審査会が始まる前の様子

## 審査会で挙げられた課題

助成金は市民から『まちづくりをすすめるために』頂いている社会福祉協議会への寄附金等で賄われています。そのため、出資する側の市民が納得できる事業に対して助成していく必要があります。ここでは審査の際、判断に困ったことや報告書についての改善点などの一部をご紹介します。今後、申請される際の参考になればと思います。

### <申請書について>

- ・市内の一部の地域で活動している団体については、今後、会員構成等で地域を越えた支援の輪を広げていけるように頑張りたい。
- ・事業を行う際に業者への委託を検討している団体には、市内で同様の活動している市民活動団体に依頼するなど、市民活動の活性化につながるよう工夫したい。
- ・立川以外でも活動している団体については活動拠点の判断基準や、市民に還元されているかという判断をするのが難しい。

- ・最初から助成金が給付されることを見越して事業を行っている場合、助成金が給付されなかったら、その事業は行えなくなってしまうという心配がある。助成金はあくまでも補助的なものとして捉えて欲しい。

### <報告書について>

- ・報告書は助成を受けた団体が『出資していただいた市民に対しての信用を創造するため』に提出して頂いています。そのため、報告書はわかりやすく多くの市民に賛同して頂ける内容にしていく必要があります。例えば、活動内容のわかる写真を添付していただいています。講演会の様子などを写す場合に参加している方も写っているとより分かりやすいですし、行った事業の内容もチラシやパンフレットを添付して頂くことで、よりわかりやすくなると思います。いかに多くの市民に賛同していただける報告書を作成するか、また、納得して頂けるように工夫をしていくのが大切になってきます。

## 審査会を終えて...

まず、多種多様な申請内容の審査をすることの難しさを感じました。次に、その活動や団体の目的を多くの方が納得できるような形で市民に伝えることの難しさを知りました。それぞれの団体で活動内容や予算規模は違います。それぞれの団体の活動には意味も意義も深いものがあります。その実現のために当センターも一緒に学び続けていきたいと考えています。

最後に、今年度より助成を受けた団体の方々には、より多くの賛同者を広げるために事業の成果を一般公開で発表していただく報告会の開催を予定しています。報告会についての詳細は決定しましたらご報告させていただきます。

## 市民活動センターたちかわ 助成事業(後期)の予定

受付期間 平成17年 9月初旬  
～平成17年 9月中旬

審 査 平成17年 9月下旬  
給 付 平成17年10月初旬

要綱・申請書につきましては、市民活動センターたちかわ窓口にお越しいただくか、ホームページよりダウンロードしてお使い下さい。

助成金のご相談につきましては随時、行っております。ご不明な点がございましたらお気軽にご相談下さい。

# 情報コーナー

～イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

## イベント・講習・講座

おすすめ!

### 第1回 通訳者の立場から

「エッ!私の手話がつうじていなかったの?」

日時: 6月11日(土) 9:30受付開始10:00講演開始  
場所: 立川市女性総合センターアイム5F第3学習室  
講師: 三沢 久枝 氏(小平市在住主婦 手話通訳士)  
日本手話通訳: 田中 清 氏  
会費: 500円

定員: 80名(先着順) 事前申込はありません  
講演後の交流会は、当日、会場にてお知らせいたします。(12時開始予定)  
音声日本語による講演ですが、日本手話通訳が付きますので、ろう者の方もぜひご参加ください。  
講演中のビデオ・カメラ・携帯カメラでの撮影、ボイスレコーダー録音などはご遠慮ください。  
問合せ: 立川手話友の会 (事務局 渡部 真理子)  
FAX: 042-529-5922  
市民活動センターたちかわ平成17年度助成事業

おすすめ!

### 至誠キートスホーム ボランティア入門講座

ボランティアに関心ある方!一歩踏み出す準備を一緒にしませんか?ボランティアには様々な活動があります。ぜひ一度、気軽にご参加ください。

日時・内容:  
.6月16日(木)13:00~15:30  
開校式・講演「ボランティアはじめの一步」  
.6月23日(木)13:30~15:30  
講義「認知症の理解と介護の仕方」  
.6月30日(木)13:30~15:30 介護実技講習  
.7月 7日(木)13:30~15:30 ボランティア体験  
.7月14日(木)13:30~15:30  
ボランティア体験・閉校式  
場所: 至誠キートスホーム(幸町4-14-1)  
費用: 無料  
申込・問合せ:  
社会福祉法人 至誠学舎立川  
至誠ホーム 至誠キートスホーム  
TEL: 042-538-2323 FAX: 042-538-2324  
担当: 西原 恵子 渡辺 道子



後援: 立川市社会福祉協議会・小平市社会福祉協議会  
国分寺市社会福祉協議会・東大和市社会福祉協議会

NPO法人

東京都中途失聴・難聴者協会よりお知らせ

### ①「高齢難聴者生きがい講座」

お年を召してから、聞こえなくなったり、聞こえにくくなった方々へ...この講座に参加して、同じ障害に悩む方々たちと知り合い、コミュニケーション手段を覚えて、明るい人生を送りませんか?  
予定: 6/27・7/25・8/22・9/26・10/24・11/13・11/28・  
12/19・1/9・1/23・2/27・3/27

対象: 都内に住む高齢難聴者で、手話や読話を殆ど学んだ経験のない方。  
原則として55歳以上、男女を問いません。どなたでもご参加いただけます。  
身障者手帳を持っていなくても結構です。ご家族同伴でも構いません。

参加費: 無料(各回30名)

担当: 「高齢難聴者 生きがい講座」担当係

### ②聴覚障害者のコミュニケーション教室

加齢で耳の聞こえに不便を感じるようになった方、病気や薬の副作用などで聴力が低下してしまった方、手話や要約筆記を学んで通訳者になる事を目指している方などを対象とした講座です。聴覚障害者のコミュニケーションに関する様々なことを学びます。集団補聴設備、要約筆記、手話通訳もつきますので安心してご参加ください。

日時: 5/28・6/25・7/23・8/27・9/24・10/22・11/26・  
12/24・1/28・2/25 13:30~16:00

対象: 都内の聴覚障害者および健聴者

参加費: 無料(各回30名)

共に

場所: 東京都障害者福祉会館

〒108-0014 港区芝5-18-2

TEL: 03-3455-6321 FAX: 03-3453-6550

問合せ先: NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会

〒160-0022 新宿区新宿2-13-11-1003

TEL: 03-5919-2421

FAX: 03-5919-2563



情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

## 第1回教育フォーラム in わかば

### 『子どもの笑顔があふれる若葉町』

上記のテーマを掲げ、家庭・学校・地域のみなさんと、どうしたら子どもたちが安心して育つ若葉町を、作っていけるか考えるフォーラムです。

経験と実績をお持ちの講師の方々と、地域のみなさんと協力して、若葉町の子どもたちの「これから...」を考えていきたいと思えます。

日時：6月18日(土) 13:00~16:00

- 内容
- 1 関連団体のパネルトーク
  - 2 シンポジウム
  - 3 ディスカッション(分散会)
  - 4 講評

場所：若葉小学校体育館

講師

小平市教育委員会 教育長 坂井康宣さん  
元静岡大学教授 日台利夫さん  
小平市教育委員会 稲田百合さん  
東京ボランティア市民活動センター  
主任 河村暁子さん

立川市立若葉小学校 教諭 浅原美幸さん  
市民活動センターたちかわ 枝村珠衣さん

ほか

ホリデースクールわかば

ボランティアコーディネーター若葉小部会

問合せ：TEL：042-534-1768(吉野由美子)

## ひと・モノ・募集

おばあちゃんの好きな方、  
ボランティアに来てくれませんか？

おばあちゃん達に簡単な折り紙、工作等教えてくれませんか。また、簡単な楽器を使った音楽、歌など、一緒に楽しめるものもうれしいです。現在7名のおばあちゃん達が暮らしています。非日常な時間が持てたらいいなと思っています。ボランティアの内容は、簡単なことなら何でもOKです。よろしくお願ひし

ます。一度遊びにいらして下さい。様子をご覧になり決めて下さい。

日時：1週間に1度、平日の13:30~15:00頃まで  
曜日は都合の良い曜日で結構です。

場所：グループホーム立川富士見町の家  
(立川市富士見町7-30-15)

問合せ：TEL：042-528-7212

FAX：042-528-7213 (担当：明石)

## 助成情報

### 地域福祉を支援する 第17回「わかば基金」

#### 支援対象

地域で活発な福祉活動をすすめているグループを対象とします。例えば以下のような活動をしているグループです。

・地域で暮らす高齢者や障害者の日常生活を支援したり、さまざまなサービスを提供している(在宅か施設かは問いません)。

・障害者の社会参加や就労の場づくりを促進したり、その活動の支援にあたっている。

・文化活動を通じて、障害や年齢をこえた交流や相互理解をはかっている。

・福祉情報の提供やネットワークづくりを通して、地域の福祉活動の向上につとめている。

#### 申し込み方法

申請書の「記入上の注意」をよく読んでから、申込書に必要な事項をきれいに記入のうえ、NHK厚生文化事業団 東京本部または各支局(近畿・中部・九州)へお申し込みください。

締切：6月24日(金)必着 【郵送のみ】

募集要項取寄せ・申し込み・問い合わせ：

社会福祉法人NHK厚生文化事業団

(平日9:30~18:00)

東京本部(わかば基金事務局) TEL 03(3476)5955

申請書はダウンロードできます。

URL:<http://www.npwo.or.jp/>

### 「2005年度(第3回)

ドコモ市民活動団体への助成事業」募集案内

~よりよい未来のために頑張る仲間を応援します~

テーマ：子ども育成

「子どもを守る」をキーワードに、家庭内・地域社会等の中で弱い立場にあり被害を受けやすい子どもたちにふりかかる問題に取り組み、子どもの育成のために活躍している団体への支援。

対象団体：日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で特定非営利活動法人(NPO)等の法人格を有するもの。活動実績が2年以上である団体(NPO等の法人格を有する以前の活動実績を含む)。

申込方法：ドコモMCFホームページ(下記URL参照)より申請用紙をダウンロードし必要事項を記入、必要書類とともに事務局へ簡易書留にて郵送。

詳細はドコモMCFホームページ(<http://www.mcfund.or.jp/jyosei02.html>)より「ドコモ市民活動団体への助成事業」募集要領をご確認ください。

申込締切：6月30日(木)必着

申込・問合せ先：

NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド  
(ドコモMCF)(担当:小林、星野)

〒107-0052 港区赤坂2-4-5 国際赤坂ビル19階

TEL: 03-5545-7711 FAX: 03-5545-7722

E-mail: [info@mcfund.or.jp](mailto:info@mcfund.or.jp)

URL: <http://www.mcfund.or.jp/>

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

# 市民活動に関わる男性たち

～ 会員の小林さんと定年退職後NPOで働く館野さん～

ボランティアというと、遠い世界のことのようだった。

イメージは「介護」。忙しい日常の中、そんな責任はおえないだろうと思っていた。

40代。会社では知識と経験を蓄積した主戦力として働く小林浩一さん。

一方、6年前に会社を定年退職した60代の館野喜三郎さん。サラリーマン生活は目一杯働いた。

でも、退職後、このまま一生悠々自適なんて考えられなかった。

だからといってタテ社会に戻るつもりもなかった。

永年、お世話になった地域社会の役に立ちたい。そう感じていた。

そんなふたりの男性。

今、どんなことを思い、どんな活動をされているのかうかがってみた。

## 小林浩一さんの場合

現在の生活の様子>

某製造業の技術開発の仕事を担当。平日は昼夜問わず、パソコンを通して仕事の連絡が流れてくる。

関わっている市民活動>

ボランティアグループ「たちかわパソコン倶楽部」に所属。月2回のパソコンなんでも相談会に訪れる人たちに具体的な操作方法などを教えている。立川市男女共生社会推進会議や第2次基本計画策定のための市民会議に市民委員としても参画。

どうして市民活動に関わろうと?>

会社以外の人や、自分と同世代の人と知り合いたかったんです。

どうやって今の活動にたどりついたのですか?>

会社のホームページに社会貢献に関する情報があり、そこから市民活動センターのことを知り、訪れてみました。自分の希望を伝えたところ挙げられた情報のひとつが「たちかわパソコン倶楽部」。

自分の得意(パソコン)を活用できるのではと興味を持ちました。

活動をするようになっておもしろいと思うのは?>

仕事にまつわる人間関係は、どうしても「成果を出す」という目標の中でのつきあいとなります。

発想や視点は偏りがち。市民活動に関わってみると、自分の感度が変わってきて、目につく事柄が違ってきます。知的刺激も受けてとても楽しい。



パソコン相談会での小林さん

## 館野喜三郎さんの場合



事務所スペースでの館野さん

現在の生活の様子>

定年退職後、1年半は身辺整理をしたりして過ごす。その後1年間、投資顧問会社に勤務。パソコンインストラクターの資格を取得後、経験と資格がいかせる仕事を求めていたところ現職と出会うこととなった。

関わっている市民活動>月曜日から金曜日の10:00-16:00、外国人相談や語学ボランティアの派遣、多文化交流事業を行っている特定非営利活動法人たちかわ多文化共生センターの事務局スタッフとして勤務。情報管理や会計、資料作成、相談受付などの業務を唯一の事務局スタッフとしてこなしている。

会社組織とNPO組織との違いにとまどったりしませんか?>

タテ社会の中で42年間やってきた。会社ではひとつのことを決めたら全員がその目標に向かってまっしぐらだが、NPOは価値観や経験の違う人たちの集まり。とまどうこともあるがおもしろい。

NPOの事務局スタッフとして仕事をしていておもしろいことは?>

最初、いろいろな人がいろいろなことをいろいろな発信の仕方でも自分に寄せてきて「私は小間使いか?」と感じたこともあった。でも文句を言わず、何でもかんでもやってみるうちに、NPO活動のことを理解していくにつれて、信用され頼りにされることに生きがいを感じるようになった。

NPOの理事会が頭脳で会員活動が身体全体とすると事務局の仕事は血液だと思っており、とても重要な役割と感じている。

定年退職後、自分が感じたこと>

歳をとったら、いかに長く社会と関わるかを意識することが大事。関わる相手は多い方がいいということ。

定年後というのは決め事がないから難しい。でも「自分ってなんなんだ」と我を見つめる大事な時期なんだと思う。

今回、お話をうかがった小林さんと館野さんは年齢もライフスタイルも異なっている。

ただ「自分を今とりまいていて人間関係を広げてみたい」

「自分の持っている経験や能力をいかしたい」ということは共通していた。

仕事以外の時間や退職後の時間の過ごし方の選択肢はいろいろある。

自然の中でゆったり・読書に没頭・温泉三昧・ボランティアやNPOに関わってみるのもひとつでは!?



## 市民活動センターたちかわ より

### 夏！体験ボランティアに参加してみませんか？

夏！体験ボランティアって？

夏！体験ボランティアとは、7月、8月の夏休みを利用して、ボランティア活動に参加する体験プログラムです。

どんなことが出来るの？

#### 老人ホームで

お年寄りとおしゃべり、活動のお手伝い、お部屋の掃除を手伝う

#### 障害のある人と

昼ごはんをつくって食べる、歌やレクリエーション

#### 保育園や子ども達が利用する施設で

子どもとふれあう、一緒に遊んだおもちゃを洗う、プールの掃除を手伝う

この他にも、地域の畑のお手伝いなど様々なプログラムがございます。ご興味を持っていただいたなら、まずは活動先一覧をご覧ください。

参加対象

市内または近隣に在住・在勤・在学の中中学生以上の方。

施設・団体によっては小学生の受け入れも行っております。

参加費

500円(資料代など)

参加方法

#### 1. 「活動先一覧」を受け取る 6月17日(金)～

市民活動センターたちかわ窓口か伊勢丹6階あいあいステーションに直接来られるか、140円切手を同封のうえ、住所・氏名・年齢を明記して「市民活動センターたちかわ」に資料請求してください。

#### 2. 希望する活動を選んで「参加申込書」を書く

活動先一覧を参考に、参加申込書に必要事項をご記入ください。高校生以下の方は同意書に保護者のサインが必要になります。

#### 3. 窓口にて申込み 6月22日(水)～7月7日(木)

必ずご本人が「参加申込書」を市民活動センターたちかわの窓口にご持参ください。市民活動センターたちかわで、参加者の希望をもとに受け入れ先の調整を行います。

#### 4. オリエンテーション 7月8日(金)もしくは9日(土)>と各施設での事前説明会

参加が決まったら市民活動センターたちかわのオリエンテーションと各施設の事前説明会(施設ごとに形態は異なります)に参加して下さい。

\* わからないことがある場合は、お気軽に市民活動センターたちかわにお声かけください。

### NPO・ボランティアのための団体運営ノウハウ相談

実際にNPO法人として活動している団体が運営について個別にご相談にのります。

事前に市民活動センターまで電話かメールでご連絡下さい。(1団体1時間以内)

相談日時は調整させていただきます。ご予約の際は、簡単なご相談内容をお知らせください。

回答に資料準備や調査が必要になる場合、相談日の後に回答をさせて頂くこともあります。

協力:市民活動サポートセンター・アンティ多摩

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

ご協力ありがとうございます！

『市民活動センター たちかわ通信』を常設しているところ(下記の場所で受け取ることができます)

立川市社会福祉協議会・市内各公民館・図書館・福祉会館・学習等供用施設  
フレンド書房・セイフー立川若葉店・モスバーガー立川高松町店・ローソン若葉町一丁目店  
トヨタ西東京カローラ立川富士見町店・レストランサラ・東京ボランティア・市民活動センター

一部地域に新聞折込をいただいています

YC読売新聞立川北部サービスセンターの皆様のご好意により、  
読売新聞をご購読の方は折り込みにて配布されます。(栄町・高松町・曙町の一部)



## 市民活動センターたちかわの おすすめ活用法

### ホームページ「市民活動WEBたちかわ」

登録団体はホームページのシステムを無料でご利用いただけます。講座のお知らせなど自由な更新が可能となっております。ぜひご利用を。



### 市民活動センターに登録しませんか？

登録していただくと市民活動センターの広報媒体を使い広く市民のみなさまに活動を広報できるほか、団体として貸室の予約が早く申し込める、印刷機が安く使用することが出来るなどのメリットもあります。毎年4月の更新です。

登録のご希望は市民活動センターまでご連絡ください。

Tel 042-529-8323 Fax 042-529-8714

Email aiaivc@whi.m-net.ne.jp

会議にイベントに…  
是非ご利用ください！



### 貸し出しスペースについて

- ・ボランティアルームふじみ(立川市総合福祉センター内)
- ・ボランティアルームしばざき(立川市シルバー人材センター内)
- ・事務所前のスペース(活動センター前)

活動センター前では無線でインターネットがご使用になれます。

### お申し込み方法

事前にお電話が来所にてお申し込みください。先着順とさせていただきます。  
(登録グループは優先予約あり)

### 交通アクセス:

JR立川北口駅より徒歩15分、JR西立川駅より徒歩8分。北口バス停 乗り場、富士見町2丁目下車徒歩4分。立川市女性総合センターアタイム前発くるりんバス、南くるりん左回り乗車。『総合福祉センター前』下車徒歩0分、平日は無料シャトルバスが立川駅北口バスロータリー交番前より 9:50、10:30、11:10、11:50、13:10、13:50、14:30 に 出ています。

